

平成27年度（平成26年度事業分）

教育委員会事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書

平成27年9月

島原市教育委員会

もくじ

1はじめに	1
(1) 趣旨	
(2) 点検及び評価の対象	
(3) 点検及び評価の方法	
2 学識経験者の所見	2~4
3 点検・評価結果	
(1) 教育委員会の活動状況	5~7
・教育委員会会議の運営・情報発信	
・教育委員会と事務局との連携	
・教育委員会と市長との連携	
・学校等教育機関に対する支援及び連携	
・教育委員の自己研鑽	
(2) 教育委員会が管理・執行する事務	8~11
・学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること	
・学校その他教育機関の設置及び廃止の決定並びに敷地の選定・変更に関すること	
・県費負担教職員の任免その他進退にかかる内申に関すること	
・県費負担教職員の服務の監督に関すること	
・教育委員会の任命にかかる職員の任免その他進退に関すること	
・委員会規則の制定又は改廃を行うこと	
・教育委員会の所管に属する委員等の任命又は委嘱に関すること	
・教育関係職員の研修の一般方針を定めること	
・教科用図書の採択に関すること	
・学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	
・教育予算その他議会の議決を経るべき議案の作成について意見を申し出ること	
・学校その他教育機関の工事の計画を策定すること	
・教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うこと	
(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	12~27
・学校教育に関すること	
・社会教育に関すること	
・スポーツ推進に関すること	
・教育環境に関すること	

1 はじめに

(1) 趣 旨

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、毎年、教育について学識経験者の知見の活用を図り、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出・公表することとなっています。

島原市教育委員会では、市民に信頼される教育行政の推進を図るとともに課題や取組の方向性を明らかにすることにより、市民の皆様への説明責任を果たし、効果的な教育行政の一層の推進を図っていくため、教育委員会活動の点検及び評価を実施し報告書にまとめました。

また、点検及び評価を行うに当たり3人の学識経験者の所見をぞぞれいただいています。

(2) 点検及び評価の対象

点検及び評価については、平成26年度における「教育委員会の活動状況」「教育委員会が管理・執行する事務」「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」の3項目に分けて行っています。

(3) 点検及び評価の方法

点検及び評価にあたっては、施策・事業の実施状況を明らかにするとともに、今後における課題と対応策について検討しています。

平成27年9月

島原市教育委員会

2 学識経験者の所見

○ 所見1

評価できる点

- 1 本市の教育行政は、策定された「島原市教育振興計画」（平成24年度～28年度）によって、将来を見通しながら、教育行政を着実に有効に推進しようとする姿勢は、大いに評価できる。
- 2 市内14校の全小・中学校を年1回学校訪問を実施している。その内容は、春の学校経営訪問、残りの半分は研究発表または中間指導と工夫して各学校の運営の把握に努めているが、他市と比べてみても、大変充実している。
- 3 学校教育においては、全小・中学校に学校司書を配置したり、各小学校に学習支援員を置いたり、各中学校に心の教室相談員やスクールカウンセリングを配置したり、特別支援教育支援員を置いてきめ細かな指導に努めている。
- 4 7地区の全公民館には市職員を配置しているが、この人材は、地域性を生かした公民館活動の中核をなしており、今後も、市職員の配置は必要である。
- 5 本市における生涯学習の大切な場所である島原図書館の駐車場が新たに確保され、33台分も増えたことは喜ばしいことである。
- 6 小・中学校の校舎・体育館などの建物の耐震化率が、本県平均94.3%、全国平均95.6%に対して、本市は100%であり、大いに評価できる。

改善を要する点（要望）

- 1 学力の向上や健やかな児童生徒の育成には、行き届いた教育環境の整備はもちろん必要だが、しかし、基本は教師一人一人の指導力の向上である。校内研修等による授業研究など教師自らの自己研鑽をさらに望みたい。
- 2 本市においても少子化の現象は、地域の諸行事の活力の低下にも影響している。青年団や婦人会の活動が消えているところでは、地域住民の力を結集するには、中核になる新たな団体の育成が必要ではないだろうか。各地域の公民館でその育成について検討して欲しい。
- 3 地域の交流拠点として、第四小学校の校庭に芝生化を試みているが、成果の有無に問わらず、他校へ広げることは、地域・学校の労力負担や経費負担の面を考慮すると慎重に行うべきと思う。

平成27年8月18日

佐藤 利宗

○ 所見2

評価できる点

- 1 教育委員会会議は、事前に市のホームページ等へ開催期日、議事等の掲載を行い周知され、原則公開（一部非公開）のもとに会場を役所ではなく公民館へ移動し、傍聴者に配慮して開催されている。また、議事録も整備公開され、新たに会議録も市のホームページへ掲載されるなど、開かれた教育委員会への努力が評価できる。
- 2 時間設定が厳しい中、学校への訪問が全小・中学校を対象に実施されている。児童・生徒や教職員の実態、学校の課題等を把握する上でも、市教育方針を徹底、浸透させ

る上でも意義あるもので評価できる。今後とも全校訪問を維持して欲しい。

- 3 機構改革により「島原市教育振興基本計画」の文化部門及びスポーツ部門を直ちに策定し、着実に推進されている。
- 4 教育関係教職員の研修の実施は、教職員の資質・指導力の向上を図るうえで大変意義あることである。今後も県教育委員会の研修計画を見据え意義ある独自の研修をお願いしたい。
- 5 財政事情が厳しい折り、小・中学校の体育館非構造部材の耐震化工事が計画的に着実に推進されている。予定通り平成27年度での完了をお願いしたい。
- 6 心の教育の充実については、道徳教育、人権教育、平和学習、「いのりの日」の取り組み等で「生命」をテーマにした授業等を含め各校よく工夫し実施されている。
- 7 読書活動の推進に関しては、学校司書との連携が実を結びこの3年間で飛躍的に図書貸出冊数が増加し成果を上げている。さらなる市図書館等との連携を図るなど読書意欲を高めて欲しい。
- 8 生徒指導の充実では、「心の教室相談員」「スクールカウンセラー(県教委事業)」の配置や「ひまわり教室」における不登校児童の支援、いじめ防止対策としての児童・生徒、保護者へのアンケートの実施などきめ細やかに対応されている。
- 9 確かな学力を身に付ける教育活動の充実については、新たに市独自の学力調査の実施、その成果の活用、問題データシステム(小・算数)の導入などがなされている。その成果を期待したい。
- 10 職場体験学習、福祉体験学習は、キャリア教育やマナー教育、道徳教育面でも大変意義あることである。今後とも継続、充実させていただきたい。
- 11 青少年の体験活動の充実については、放課後子ども教室の稽古館、寺子屋・武家屋敷の参加者が増加し浸透が図られている。また、新たな事業としての放課後子ども学習室、スクールキッズは、生徒指導や学習習慣の定着、学力の向上の面からも、社会のニーズ面からも意義ある事業と思う。
- 12 文化財の保護・公開・活用の中の記念事業は、興味も湧き新たな発見もあり個人的には充実していた。特に「しまばらの江戸まつり」は島原らしいイベントで桜の季節でもあり参加者も多く良かった。できれば、今後も継続し充実発展させて欲しい。
- 13 生涯スポーツの推進でスポーツ教室が2教室開催されている。高齢化社会を迎え、中高年向けの教室開催は評価できる。健康増進・体力づくり・仲間づくりの面からも大いに呼び掛け拡大充実させて欲しい。
- 14 長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会が優秀な成績を収め成功裡に終えられて大変よかったです。

改善を要する点（要望）

- 1 教育委員会会議は公開のために大変な努力をなされているが、一般の方が気安く傍聴できるという感覚ではないのではないかと思います。広報の際に、だれでも気軽に傍聴できる旨を、その都度、鮮明に記載したり呼び掛けたりされたらどうでしょうか。
- 2 いろんな学習を行う際に、ゲストティチャーや講師等を招聘し、効果的な学習を進めているが、その際の講師決定の留意点等をもう一度各学校へ指導徹底し、スムーズに、より効果を上げてもらいたい。
- 3 全国学力テストの全国的な結果の公表により、趣旨と違った雰囲気が全国的に出てきているような気がします。今一度、全国学力テスト実施の趣旨の徹底を各学校に指導していただきたい。今の雰囲気では、教師や児童生徒、保護者の目が国語、算数・

数学、英語だけに向き、限られた時間がそれらに割かれたりすると他の教科の得意な児童生徒等への影響が考えられる。

- 4 パソコンや電子黒板等の多様な機器が各学校へ配備されています。全職員が有効に授業等に活用できるよう長期休暇等を使って操作・活用能力を向上させて欲しい。

平成27年8月18日

宮崎 和夫

○ 所見3

評価できる点

- 1 ホームページを活用し、委員会会議の概要及び議案書、会議録を公開していることは評価できる。今後、掲載のタイミングも要求されると思う。
- 2 教育委員会と事務局の連携はもとより、市長と教育全般について意見交換をし、双方から隨時、協議されていることは素晴らしい。
- 3 小・中学校施設の耐震化計画の迅速さを評価したい。
- 4 噴火災害の被災地としての防災学習、ジオパーク学習の充実が図られていることを評価する。
- 5 日本PTA全国研究大会長崎大会島原分科会・長崎がんばらんぱ国体・長崎がんばらんぱ大会の開催の支援を評価する。

改善を要する点（要望）

- 1 LINE・携帯・スマホの利用方法次第でいじめが発生している。いじめが初期段階で発見できるよう、家庭でも学校現場でも注意が必要である。特に、家庭において、より注意を促すよう推奨すべきだと思う。
- 2 学校支援会議を活用し、子育て支援に取り組む事は大変評価できる。また、地域社会との連携は不可欠であり、青少年健全育成協議会、婦人会、老人会、青年団等の活動へ保護者も積極的に参加するよう促す必要がある。
- 3 あいさつ運動は、積極的に活動が行われているようだが、今一つ成果が上がって無いように思える。まず、家庭の中で元気なあいさつができるよう推進してほしい。
- 4 島原市有明体育館の設備や備品の老朽化に対しての対策を考えてほしい。管轄外かもしれないが、トレーニングセンターも同様である。

平成27年8月18日

酒井 寛明

1 教育委員会の活動状況

大項目 教育委員会会議の運営・情報発信		
中項目	小項目	点検・評価
(1) 教育委員会会議の開催回数等	①教育委員会会議の開催回数	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会会議は、原則として毎月初旬に定例会を、また必要に応じて臨時会を開催し、議案及び懸案事項などの審議を行っている。 <p>平成26年度は、定例会を12回、臨時会を3回開催した。</p>
	②教育委員会会議での審議状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年改正前「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「島原市教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任し又は臨時に代理させる規則」第2条の規定に基づき、平成26年度は合計で63の議案について審議を行った。 審議を要する事項は、所定の時期に取り上げている。 <p>(ア) 教育委員会規則等の制定及び改廃 ···· 30件 (イ) 内消費税法改正に伴うもの ···· 17件 (ウ) 教育委員長等の選任に関すること ···· 1件 (エ) 教職員等の人事に関すること ···· 2件 (オ) 議会の議決を経るべき議案 ···· 4件 (カ) 条例等に定めのある附属機関等の委員やその他委員等の委嘱及び任命等 ···· 18件 (キ) 表彰に関すること ···· 2件 (ク) 意見の申出に関すること ···· 1件 (ク) 平成27年度使用島原市立小学校教科書採択 ··· 1件 (ケ) 平成26年度教育委員会の権限に属する事務の管理・執行状況にかかる点検及び評価 ···· 2件 (コ) 島原市教育振興基本計画 ···· 1件 (セ) 島原市子ども読書活動推進計画 ···· 1件</p>
	③教育委員会会議運営上の工夫等	<ul style="list-style-type: none"> 議案等については、事前配付し、内容について周知することで委員会での審議の活発化を図っている。 各担当課による事業の実績・予定報告や付議案件の詳細説明などを行うとともに、今日的な教育課題などについて意見交換や協議を行い、今後の対応策等について共通理解を図っている。
(2) 教育委員会会議の傍聴者の状況		<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会会議の開催日時等については、市のホームページへの掲載と市政記者クラブへの情報提供を行い周知に努めた。 教育委員会会議の開催日時等については、市のホームページ

1 教育委員会の活動状況

中項目	小項目	点検・評価
		<p>ジへの掲載と市政記者クラブへの情報提供を行い周知に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傍聴者に配慮して会議を公民館で4回開催した。 (杉谷公民館3回、靈丘公民館1回) ・平成26年度の会議における傍聴者は1人あった。 ・開催日時のみでなく、議事等の事前周知を行っている。今後もホームページ等を利用し、随時情報発信に努めたい。
(3) 議事録の公開、広報・広聴活動の状況	①議事録の作成・保管	<ul style="list-style-type: none"> ・会議毎に、報告事項、議案及び審議内容を記した議事録を作成し、永年保存文書扱いとして管理している。
	②議事録の公開	<ul style="list-style-type: none"> ・原則公開としており、情報公開請求にも対応できるよう議事録を整備しているが、平成26年度中の公開事例は、東京学生寮に関する審議分の公開が6件あった。 ・概要及び議案書等について、市のホームページへ掲載していたが、平成27年1月の定例会以降の会議録についてもホームページに掲載した。
大項目 教育委員会と事務局との連携		
中項目	小項目	点検・評価
(1) 教育委員会と事務局との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・懸案事項等が発生した場合、随時教育委員へ連絡を行うとともに、定例会において経過報告・協議を行い、現状把握や解決に向けた方策等について共通理解が得られるようにしている。 ・定例会において、諸問題について委員、事務局双方から問題提起し、意見交換や協議を行うことで教育課題に係る共通認識を持ち、教育委員と事務局との連携を図っている。
大項目 教育委員会と市長との連携		
中項目	小項目	点検・評価
(1) 教育委員会と市長との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・新年度当初予算重点事項要望書を教育委員長から市長へ手渡す機会を毎年1月に設定している。 ・その折に予算要望項目のみならず教育全般について市長と意見交換をしている。 ・この他にも、必要な事項については、双方から随時、協議を行っている。

1 教育委員会の活動状況

大項目			学校等教育機関に対する支援及び連携
中項目	小項目	点検・評価	
(1) 学校への訪問		<ul style="list-style-type: none"> ・全小・中学校を対象に、春の学校経営訪問9校（半日）、研究発表及び中間指導として、秋に5校の学校訪問を実施した。 ・各学校の課題について校長から直接聴取し、その解決に向けた方策について適宜指導助言を行った。 今後も全小・中学校を対象として、毎年実施し、教職員の資質向上に努め、学力向上を目指した本市学校教育の充実を図る。 ・この他、各学校の行事には積極的に出席するように努めている。 	
(2) その他施設への訪問、行事参加等		<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の儀式的行事（入・卒業式）、運動会・体育大会、小大会・中体連、北村西望賞教育美術展等へ参加した。 ・第6・7回国民体育大会をはじめ、島原市民体育祭大運動会、島原市民親睦大会等の各種スポーツ大会にも積極的に参加し、また、平成26年度から新たに実施したJFAところのプロジェクト「夢の教室」協定締結式や有馬スポーツ賞表彰式に参加した。 	
大項目			教育委員の自己研鑽
中項目	小項目	点検・評価	
(1) 研修会への参加状況		<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県市町村教育委員会連絡協議会主催の研修会（長崎市）及び研究大会（新上五島町）に参加し、分科会ごとのテーマに沿って各市町委員と意見交換を行った。 	
(2) 先進地への視察研修		<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年2月、「人材育成」をテーマに福岡県久留米市のあかつき幼稚園と山口県の萩市立明倫小学校の先進地視察を行った。 	
(3) 自己研修		<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修大会等に参加したり、教育関係刊行物などを購読し、情報の収集に努めている。今後も、事務局職員との意見交換を行い、各自の資質向上に努めていく。 	

2 教育委員会が管理・執行する事務

大項目	学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること	
中項目	小項目	点検・評価
(1)「島原市教育方針」		<ul style="list-style-type: none"> ・「島原市教育振興基本計画」(平成24～28年度) ・機構改革により文化部門及びスポーツ部門を別冊にて策定した。
大項目	学校その他施設等の設置及び廃止の決定並びに敷地の選定・変更に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・建物の老朽化による倒壊の危険性が高い等との理由から平成26年8月31日をもって東京学生寮を廃止した。
大項目	県費負担教職員の任免その他進退にかかる内申に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 校長への意見聴取		<ul style="list-style-type: none"> ・2回にわたる教職員実態調査(ヒアリング)を行うとともに、必要に応じて各校長への意見聴取を実施した。
大項目	県費負担教職員の服務の監督に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 校長会、教頭会、各種研修会における指導		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の校長会、教頭会、各種研修会等において不祥事防止に関する指導助言を行った。
大項目	教育委員会の任命にかかる職員(県費負担教職員を除く)の任免その他進退に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・任免については、4月の定例教育委員会の中で報告を行った。
大項目	委員会規則の制定又は改廃を行うこと	
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・法の改正及び施設管理運営上の変更等に伴う委員会規則等の制定・改廃については、教育委員会会議において審議し、実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ○規則の制定・改正20件 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 島原文化会館条例施行規則 (イ) 島原市有明文化会館の管理運営に関する規則 (ロ) 島原復興アリーナ条例施行規則 (エ) 島原市営平成町多目的広場条例施行規則 (オ) 島原市営平成町人工芝グラウンド条例施行規則 (カ) 島原市壱丘公園体育館・弓道場条例施行規則 (キ) 島原市立有馬武道館条例施行規則

2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	小項目	点検・評価
		<p>(f) 島原市立温水プール条例施行規則 (g) 島原市有明プール条例施行規則 (h) 島原市営球場条例施行規則 (i) 島原市営庭球場条例施行規則 (j) 島原市営運動広場条例施行規則 (k) 島原市営陸上競技場条例施行規則 (l) 島原市立屋内相撲場条例施行規則 (m) 島原市立夜間照明施設の設置及び管理等に関する条例 施行規則 (n) 島原市有明体育施設条例施行規則 (o) 島原市立れいなん会館条例施行規則 (p) 島原市東京学生寮運営規則 (q) 島原市文化財保護条例施行規則 (r) 島原市スポーツ振興基金条例施行規則 ○規程の改正 1 件 (s) 島原市立学校備品取扱規程 ○要綱等の制定・改正 9 件 (t) 島原市教育文化振興事業団運営費補助金交付要綱 (u) 島原市小・中学校育友会補助金交付要綱 (v) 島原市学校教育振興補助金交付要綱 (w) 島原市社会教育関係団体等補助金交付要綱 (x) 島原市文化振興補助金交付要綱 (y) 島原市スポーツ振興補助金交付要綱（2 件） (z) 島原市小学校フッ化物洗口推進事業実施要綱 (aa) 島原市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱 </p>

教育委員会の所管に属する委員等の任命又は委嘱に関するこ		
中項目	小項目	点検・評価
		<p>・各種審議会等の委員の適任者として推薦があった者について、定例教育委員会において審議を行い、任命又は委嘱した。</p> <p>(f) 各種審議会等委員の委嘱及び任命 11 件 (g) 部活動外部指導者の委嘱・解嘱 5 件 (h) 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱・解嘱 2 件</p>

2 教育委員会が管理・執行する事務

大項目	教育関係職員の研修の一般方針を定めること	
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・資質・指導力の向上を図るために以下の3つの研修を行った。 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 若手教職員の社会体験活動 教職経験2～5年目の教職員対象 (イ) 教育講演会 全教職員対象 (ウ) 社会教育主事講習 1名受講
大項目	教科用図書の採択に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 島原・雲仙・南島原地区採択協議会における連携		<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度は、小学校教科用図書採択が行われた。
大項目	学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度中の設定・変更是行わなかった。
大項目	教育予算その他議会の議決を経るべき議案の作成について意見を申し出ること	
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度当初予算要求における重点要望事項について協議を行い、市長へ次の4項目の要望書を提出した。 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 学校教育の充実 (イ) 社会教育の推進 (ウ) スポーツの推進 (エ) 教育環境の充実
大項目	学校その他教育機関の工事の計画を策定すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 学校施設の耐震化計画		<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の校舎・体育館などの建物の耐震化については、平成24年度で耐震補強工事が完了し、体育館非構造部材の耐震化は、平成26年度は、7校（第五小、三会小、大三東小、湯江小、第二中、第三中、三会中）の工事を実施し、また、平成27年度工事予定の7校分（第一小、第二小、第三小、第四小、高野小、第一中、有明中）の実施設計を行った。（平成25～27年度の3か年計画）

2 教育委員会が管理・執行する事務

大項目	教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うこと	
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none">平成25年度の事業について点検及び評価を実施し、9月市議会において報告するとともに、ホームページで公開した。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

大項目	学校教育に関すること															
中項目	小項目	点検・評価														
(1) 心の教育の充実	①道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 「長崎っ子の心を見つめる教育週間」では、「生命」をテーマとした道徳の授業を全学校で実施・公開した。 														
	②人権学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> 人権週間の取組については、各学校標語作りや人権宣言、ゲストティーチャーによる講話等、工夫を凝らした取組を行っている。 														
	③平和学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> 全小・中学校で8月9日の登校日に平和集会を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> (7) 校長講話 (1) 平和学習の発表 (9) 平和宣言 (1) 平和に関する歌 8月9日以外の平和学習 <ul style="list-style-type: none"> (7) 小学校4年生の社会科見学 (1) 各教科における平和教材を使った学習 														
	④読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 全小・中学校に配置した「学校司書」を活用しながら、貸出冊数の増加を図っている。 <p style="text-align: center;">図書貸出冊数（1人平均）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H28目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>98.1</td> <td>130.1</td> <td>160.7</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>7.9</td> <td>13.1</td> <td>16.4</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H28目標	小学校	98.1	130.1	160.7	120	中学校	7.9	13.1	16.4
	H24	H25	H26	H28目標												
小学校	98.1	130.1	160.7	120												
中学校	7.9	13.1	16.4	12												
⑤文化・芸術教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 北村西望賞教育美術展（出展数276点）、夏休み親子粘土教室（児童72名、保護者17名、引率35名計124名）等を実施し、文化・芸術教育の充実を図っている。 中学校美術展は平成25年度から北村西望賞教育美術展に統合した。 															
⑥生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導担当者会を開催し、いじめ、不登校、携帯・スマホ、問題行動及び佐世保事件等への対応や解決のあり方を協議した。 児童生徒の悩みや相談に対応するため、全中学校に「心の教室相談員」、全中学校及び小学校2校に「スクールカウンセラー（県教委事業）」を配置して対応した。 適応指導教室「ひまわり教室」において、不登校児童に対する支援を行った。 いじめ防止対策として、児童生徒・保護者用アンケートを、 															

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		<p>年に3回（5月・9月・1月）に実施した。</p> <p>※児童生徒用は各学校が、保護者用アンケートは市教委が作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉と連携するために、スクール・ソーシャル・ワーカーの配置を要望した。
(2) 確かな学力を身に付ける教育活動の充実	①授業改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学習に取り組み、問題を解決する力を育成するために、各小・中学校において、体験的な学習や基礎的・基本的な知識・技能を活用した問題解決的な学習を取り入れた授業を実践した。 全小・中学校へ学校訪問を行い、指導助言をすることで授業改善の推進に努めた。 全国学力学習状況調査の結果を公表した。 市学力調査を実施した。（小4・中1：国語・算数、数学） 問題データベースシステムの導入（小・算数）
	②きめ細かな指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 各小・中学校において、学習内容、児童生徒の興味・関心、達成度等に応じた少人数指導やTT（ティームティーチング）を行い、きめ細かな指導の充実に努めた。 授業中、個別に支援が必要な児童生徒に対し、学習支援員を活用した指導の充実を図った。
	③学びの習慣化の確立	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上には学習規律の定着が欠かせないことから、学校ごとに設定している共通のきまりをもとに学習規律の確立に努めるよう、指導を行った。
(3) 地域との連携・協力による学校づくりの推進	①地域の教育力を生かした体験学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験学習（小・中学校） 職場見学や職場体験学習を行い、感謝の気持ちをはぐくみ、キャリア教育の充実を図った。 福祉体験学習（中学校） 高齢者・障害者施設等を訪問し、社会貢献しようとする意欲を養った。 野外宿泊体験学習（小・中学校） 県立千々石少年自然の家や国立諫早青少年自然の家で、ジオパーク学習も取り入れ、宿泊体験学習を実施した。 島原市退職校長会作成の「教育支援人材バンク一覧表」を活用し、地域人材を生かした教育活動を行った。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	②信頼される学校づくりの推進	・各学校は自己評価や学校関係者評価等によって、学校運営の改善を図っている。また、地域の人たちからなる学校支援会議を活用し、子育て支援に取り組んだ。
(4) 資質・指導力の向上	①教職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 定例管理職研修会、教務主任研修会、研究主任研修会、生徒指導担当者研修会等で、専門的な研修を行い、教職員の資質・指導力の向上を図った。 体罰ガイドラインを利用した研修実施の指導を行った。 学力先進地視察を行った。(秋田県・福井県)
	②校内研修体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校14校の半数を毎年順次指定し、最終年度には研究の成果を発表している。各学校はそれぞれの学校課題を解決するために、研究テーマを設け教師の指導力や授業力の向上を図った。
	③校種間連携の充実	<ul style="list-style-type: none"> 幼保小連携を推進し、小1 プロブレムの解消に努めた。 中学校区内の小学校と中学校が、相互に授業を公開し、中学校の英語・数学・音楽・美術・体育などの教諭が小学校に向いてアドバイスを行った。
(5) 国際化への対応	①国際交流活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 中学生15名を選考し、シンガポールを4泊5日で訪問した。 現地の中学生と英語で交流を行ったり、現地日本企業、歴史・文化施設を見学した。 3回の事前研修会をとおして、個々の生徒の目的意識を高めて参加させたことが訪問交流研修の充実につながった。 帰国後の報告会を行った。
	②ALT・支援員の活用	<ul style="list-style-type: none"> ALT(外国語指導助手)を4名配置している。中学校には学校の規模に応じて週に2~3回、小学校には週に1回程度計画的に派遣し、授業で活用した。
(6) 食に関する指導の充実	①食に対する理解と感謝の心の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 各小・中学校において「食に関する指導の全体計画」に基づき、朝食の大切さや食事のマナーについて指導を行った。 野菜等を栽培・収穫・調理し、試食するという一連の体験活動をとおして、「食事」にはたくさんの人の手がかかっていることを理解させ、それに対する感謝の念をもたせることができた。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	②家庭・地域との連携による食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 各小・中学校で「給食だより」を毎月発行し、学校給食の状況や食に関する情報を提供し、家庭の食に関する意識を高めることができた。 家庭や地域と連携して「弁当の日」や「お魚教室」などを開催し、食育を推進することができた。
(7) 特別支援教育の推進	①個に応じた指導・支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育園と小学校が互いに訪問し、学習や生活の様子を観察したり、話し合ったりすることで支援が必要な子どもの情報の共有化を図った。 中学校入学時における連絡会等をとおし、個別に支援が必要な児童の情報を確実に引き継いだ。 就学相談においては、市保健センターとの連携を深め5歳児健診等の情報から適切な就学につなげた。 各小・中学校において、個別の教育支援計画を作成するよう指導した。
	②指導体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会を開催するよう指導し、個別に支援が必要な児童生徒に対する共通理解を図った。 特別支援教育コーディネーター研修会を、年間1回実施し、コーディネーターの資質向上を図った。 特別支援教育支援員を各小・中学校へ配置し、個別に支援が必要な児童生徒の指導にあてた。
	③関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 就学指導においては、市保健センターの5歳児健診へ各小学校の特別支援担当職員を参加させ、就学前の子ども実態把握に努めた。 特別支援学校へ授業参観や発達検査を依頼し、児童生徒への適切な指導方法への助言を受けた。 県教育センターの巡回教育相談を活用し、児童生徒の指導の充実を図った。
(8) 健やかな体の育成	①学校体育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 市内全児童生徒の体力について、市教委が分析し、その結果を受けて、全小・中学校が「体力向上アクションプラン」を作成し、実施した。 子どもの体力向上研修会（体育実技講習会）を開催し、指導力・授業力の向上を図った。 中学校体育連盟の会議や小学校体育連盟の会議の機会を生かして、学校体育に関する指導を実施した。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	②部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・中体連会議の機会をとおして、部活動のあり方や指導力向上に対する指導を実施した。 ・外部指導者の委嘱は、各校長の推薦を受けて市教委が行い、校長をとおして、体罰防止等の指導を行った。平成26年度外部指導者登録者数68名
	③健康教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小児生活習慣病予防検診を実施し、小学校4年生を対象として、市医師会と連携し、専門医による保健指導を行った。 ・養護教諭部会・保健主事部会を定期的に開催し、保健・安全に関する研修会を行った。 ・薬物の害や怖さ、勧められたときに断る勇気の大切さを理解させるため、各学校で薬物乱用防止教室を実施した。
(9) 防災教育の推進	①防災計画の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・平成3年の普賢岳災害から学んだ「生命・きずな・感謝の心」の精神を生かした様々な取組を、6月3日を「いのりの日」として、各学校において実施した。 ・東日本大震災の教訓を生かし、防災教育の見直しを行った。 ・9月1日、防災の日に全中学校で、非常食体験を実施した。
	②防災学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・噴火災害における土石流・火碎流等、島原市で発生した災害の画像や映像を取り入れた補助教材である地域防災教育資料の活用を推進した。 ・5・6年生の社会科や理科、総合的な学習の時間で活用できる教材で、その活用方法について市教育研究会視聴覚部会で、理科の授業実践を含めた研修会を実施した。
	③「いのりの日」の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で行われた取組内容は以下のとおりである。 学習発表、ビデオ視聴、追悼の会、追悼演奏 語り部による講話、道徳授業公開、校長講話 全校集会、ジオパーク事務局員講師による講話 ・全小学校で非常食体験を実施した。
	④ジオパークに関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・導流堤、砂防ダム、定点の観察や社会科副読本「私たちの島原市」での学習、雲仙岳災害記念館の講師による現地見学説明など、各学年の発達段階に応じたジオパーク学習を全小・中学校で行った。 ・それらの学習は、社会科、理科、総合的な学習の時間及び特別活動など各教科・領域の教育課程に位置づけるよう指導した。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

大項目	社会教育に関すること									
中項目	小項目	点検・評価								
(1) 「島原市ココロねっこ運動」の推進	①青少年の体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 週末余暇活動は6地区で行われ、地区ごとに年に数回の体験活動などが行われた。 通学合宿を市内6地区で実施し、計113名の児童が参加した。各種団体ボランティアスタッフやもらい湯提供家庭との交流が図られた。 放課後子ども教室は、放課後の子どもの居場所づくりを目的に、次の4つを実施した。 <table> <tr> <td>(ア) 稽古館（古典の学習）</td> <td>289名</td> </tr> <tr> <td>(イ) 寺子屋・武家屋敷（論語の素読）</td> <td>282名</td> </tr> <tr> <td>(ウ) スクールキッズ（自学学習）</td> <td>148名</td> </tr> <tr> <td>(エ) 放課後子ども学習室（自学学習）</td> <td>6, 135名</td> </tr> </table> 	(ア) 稽古館（古典の学習）	289名	(イ) 寺子屋・武家屋敷（論語の素読）	282名	(ウ) スクールキッズ（自学学習）	148名	(エ) 放課後子ども学習室（自学学習）	6, 135名
(ア) 稽古館（古典の学習）	289名									
(イ) 寺子屋・武家屋敷（論語の素読）	282名									
(ウ) スクールキッズ（自学学習）	148名									
(エ) 放課後子ども学習室（自学学習）	6, 135名									
②子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 子育て広場は、3月に「江戸時代に学ぶ子育ての知恵」と題した石川真理子氏の講演を実施し、約60名の参加があった。 家庭教育学級は、地区ごとに年6回程度の講座が計画され、PTAや青少協などの各種団体が主体となり実施した。 健康教育講座は、地区ごとに計画され、延べ805名の参加があった。 思春期子育て講座は、中学校区ごとに計画され、延べ651名の参加があった。 									
③学校と地域社会の連携	<ul style="list-style-type: none"> 杉谷地区、安中地区、高野小校区では、小学校と地域が合同で運動会を開催し連携を強めた。 通学合宿、週末余暇活動などにより、学校と地域の連携が図られた。 ひとづくり出前講座は28回の利用があった。 学校支援会議は、各小・中学校で開かれており、校区内における意見を交換する場となっている。 									
(2) 地域の特性を生かした公民館活動の推進	①地域に密着した公民館運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> 公民館まつりは全7地区で実施され、公民館を利用しているサークルなどの日ごろの成果を発表する場となっており、多くの来場者があった。 各地区公民館運営委員会及び公民館運営審議会はそれぞれ年2回行われ、運営や要望などを話し合う場となった。 								

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	②各種学級・講座の充実	<ul style="list-style-type: none"> 女性学級は、学級生と社会教育指導員で講座内容を決めている。11学級、88講座で延べ1,954名の参加があった。 高齢者学級は、学級生と社会教育指導員で講座内容を決めている。全7地区、60講座で延べ2,280名の参加があった。 家庭教育学級は、各地区の青少協・PTA・学校・公民館の代表者で講座内容を決めている。全7地区、52講座で延べ7,720名の参加があった。 青年教室は、白山地区で行われ、3講座で延べ26名の参加があった。
	③公民館サークル活動の育成	<ul style="list-style-type: none"> 各サークルで、工夫や改善を行いながら充実した活動となっている。7地区公民館において、約220のサークルが活動した。
(3) 社会教育関係団体の育成と活動の推進	①青少年健全育成協議会活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 各地区的青少協は、地区ごとの特色を生かした伝承・伝統行事や週末の余暇活動等を実施した。 朝のあいさつ運動は、各地区的青少協が中心となり、会員が通学路の要所（校門や交差点）に立ち、児童生徒の安全を見守るなど、積極的に行われた。 非行防止活動として、各地区において夜間パトロールやお祭り・夜市などのパトロールを行った。
	②子ども会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 会の活動については自主運営を働きかけ、ジュニアリーダー研修会など独自性のある活動を行った。また、役員の研修などにも積極的に参加した。
	③各種団体の支援	<ul style="list-style-type: none"> 婦人会活動は、有明地区、杉谷地区以外の5地区で行われた。会員数の減少が課題となっている。なお、有明地区及び杉谷地区については、地区婦人会が存在しないため、地区全体に広がる女性の会の結成を呼び掛けた。 白山青年団は活発に活動しており、会員数も微増している。 島原市PTA連合会は、毎年1月に会員を対象とし

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		て研修会を行っている。また、平成26年度は、日本PTA全国研究大会長崎大会島原分科会が開催された。
(4) 図書館活動の推進	①図書館活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 図書館司書の専門的知識を生かし、利用者からのリクエストを参考としながら、新規図書等の購入、資料の収集を行った。 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 島原図書館(平成26年度末) <ul style="list-style-type: none"> 蔵書数 117, 977冊 視聴覚資料 4, 535点 (イ) 有明図書館(平成26年度末) <ul style="list-style-type: none"> 蔵書数 73, 995冊 視聴覚資料 1, 217点 図書館の開館時間を、午前9時から午後8時までに延長した。 <ul style="list-style-type: none"> 年間貸出冊数 164, 282冊 団体貸出や図書館遠隔地の学校への簡易移動図書館等を実施し、子ども読書活動を推進した。 島原図書館利用者の利便性を向上させるために、土地開発公社から土地を購入し、図書館駐車場として活用を開始した。33台分増。 市民が一体となって子どもの読書活動を推進するため、第二次島原市子ども読書活動推進計画を策定した。 計画期間 平成27~31年度の5か年間
(5) 少年センター活動の推進	①補導活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 68名の少年補導委員を委嘱し、毎月の定期補導活動に加え、長期休業中や市の行事における特別補導等、各地区で積極的、計画的に取り組んだ。年間の補導活動は161回、延べ713名の参加があり、78件の補導があった。
	②相談活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 相談業務においては、ポスターの掲示やチラシ等の配布を行い啓発を図った結果、11件(年間)の相談があった。
	③環境浄化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市内3か所に設置した白ポストにより青少年の健全育成に有害な雑誌やDVD等を毎月回収しており、年間411点を回収した。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> 立ち入り調査を年2回実施し、有害図書のある書店・コンビニ、カラオケボックス、携帯電話等販売店などを調査・指導した。
	④地域啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1日の「少年の日」におけるあいさつ運動は、各地区的社会教育団体と連携しながら、積極的に活動を行った。 毎月第3日曜日の「家庭の日」について、その直前の金曜日に、車による広報活動を行った。
	⑤関係機関等との連携	<ul style="list-style-type: none"> 年2回実施している補導委員会の中で、島原警察署員などによる講演を実施した。警察や学校との情報交換を行った。
(6) 文化財の保護・公開・活用	①旧島原藩薬園跡の保存・公開・活用	<ul style="list-style-type: none"> 産業部との連携により薬草イベントを実施し、周知に努めた。 旧島原藩薬園跡出土の金属製品の保存処理を行った。
	②松平文庫の保存・公開・活用	<ul style="list-style-type: none"> 書籍の修復作業や来館する研究者、見学者及び郷土史に関する各種問い合わせに対応した。 企画展を4回開催した。 「島原城の石垣修復」 「大和流弓術と島原藩」 「藩主の書」 「島原大変」 島原藩日記第7巻を刊行した。
	③文化財の保護	<ul style="list-style-type: none"> 開発行為対応のための埋蔵文化財発掘調査(7か所)を行った。 島原城石垣の現状把握のため、石垣台帳を作成した。(3年計画の3年目)
	④記念事業	<ul style="list-style-type: none"> 長崎がんばらんば国体・弓道競技島原開催記念 「大和流弓術と島原藩」のパネル展示 弓道競技者・観覧者に向けて、島原藩弓術師範の家に伝來した古文書類のパネル展示を行った。 期 間：10月14日（火）～16日（木）

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		<p>3日間 会 場：弓道競技会場 ・島原城天守閣復元50周年記念事業 (ア)「深溝本光寺宝物展」 愛知県幸田町と島原両本光寺及び松平家当主より貴重な宝物を借用して、島原藩の歴史及び島原市と幸田町との歴史的つながりを紹介する展示を行った。 期 間：10月11日（土）～11月16日</p> <p>37日間 会 場：島原城観光復興記念館 来場者：4, 615人 (イ)「しまばら江戸まつり」 お城や武家屋敷周辺を舞台にして、座学・史跡巡り・舞踊・茶道・江戸のお菓子など、江戸時代を体験するイベントを開催した。 期 間：3月28日（土）～29日（日）2日間 会 場：武家屋敷・島原城・島原図書館ほか 来場者：延べ3, 000人</p>
(7) 文化活動の推進	①文化団体の育成と連携	<ul style="list-style-type: none"> 島原市美術展覧会は、市及び市教育委員会・島原文化会館・島原文化連盟・有明文化協会が主催で、平成26年10月1日（水）～5日（日）の5日間開催した。出品数430点、入場者1, 288人。 島原市民音楽祭は、島原市小中学校音楽教育研究会、島原市音楽連盟、島原市邦楽振興会との共催で開催した。 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 小中学生の部 平成26年11月15日（土） 2, 687人（うち出演者940人） (イ) 洋楽の部 平成26年11月9日（日） 654人（うち出演者276人） (ウ) 邦楽の部 平成26年11月16日（日） 398人（うち出演者131人）
	②自主文化事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> 慣例的に娯楽系、子ども向け、有名アーティスト系、芸術系の4本柱で行ってきた公演事業については、以下の4本を開催した。 (ア) 米良美一トーク&コンサート

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		<p>平成26年6月29（日） 有明文化会館 入場者505人／700席（入場率72.1%）</p> <p>(イ) ピノッキオの冒険（子ども向けミュージカル） 平成26年8月2日（土） 島原文化会館 入場者390人／1,202席 （入場率32.4%）</p> <p>(ウ) チェコ国立管弦楽団パルドビツエコンサート 平成26年9月28日（日） 島原文化会館 入場者691人／1,202席 （入場率57.5%）</p> <p>(エ) しまばら落語会 花緑・木久藏・玉楽三人会 平成27年2月15日（日） 有明文化会館 入場者336人／700席（入場率48%）</p> <p>・子ども狂言ワークショップについては、5月21日から10月25日（薪能）までに12回開催し、28人の参加者があった。</p>

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

大項目	スポーツ推進に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 生涯スポーツの推進	①総合型スポーツクラブの普及・推進	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型スポーツクラブとして、「白山いきいきスポーツクラブ」が、卓球やバドミントン等、週2回活動した。
	②スポーツ大会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民総参加でスポーツにふれあう場として市民体育祭を開催し、市民の健康及び体力つくりの推進を図った。 ・教育委員会主催のスポーツ大会を7大会、スポーツ教室を2教室開催した。合わせて約1,700名の市民が参加し、相互の親睦を深めるとともに、健康増進・体力つくりの一助になった。
	③スポーツ交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・大学サッカーフェスティバルなど新規の大会も含め、ゴールデンウィーク中の高校剣道錬成大会や、夏休み期間中の市長杯少年サッカーフェスティバル、冬の島原学生駅伝など、交流人口の拡大による地域の活性化を目的として、関係団体等と密接な連携を図りながら、大規模な大会の開催に努めた。
(2) ジュニアスポーツの推進	①スポーツ少年団活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団登録50団に対して、運営費及びスポーツ安全保険加入費補助金を交付した。 ・スポーツ少年団の交流促進を目的に、スポーツ少年団駅伝大会を開催し、選手は31団から217名が参加した。 ・スポーツ少年団指導者の資質の向上を目的に、指導者研修会を開催し、76名が参加した。
	②夢の教室の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・夢を持つことの大切さや仲間と協力することの大切さを学ぶよい機会となることを目的に、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」協定を締結した。 ・市内すべての小学校第5学年を対象に開催した。学級数14学級、児童数441名、夢先生7名。
(3) 長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会	①総会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・総会(2回) ・常任委員会(1回) ・4専門委員会(各1回)

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	②長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会に向けたPR活動	<ul style="list-style-type: none"> ・PR活動の実施（30回） ・国体通信の発行（毎月） ・採火・炬火イベントの開催（8回） ・集火イベントの開催（島原城） ・選手団結団壮行式・市民総決起集会の開催（1回） ・スポーツ教室の開催（1回） ・市内主要施設・道路及び競技会場等への歓迎看板、のぼり旗、飾花プランター等の設置
	③長崎がんばらんば大会リハーサル大会の開催（5月）	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回全国障害者スポーツ大会（バレー・ボーラー（知）サッカー）
	④長崎がんばらんば国体の開催（10月）	<ul style="list-style-type: none"> ・レスリング競技会（島原復興アリーナ） (参加・観覧者数 10, 525名) ・弓道競技会（靈丘公園体育館・弓道場） (参加・観覧者数 5, 390名) ・バレー・ボーラー競技会（島原復興アリーナ） (参加・観覧者数 12, 438名) ・サッカー競技会（陸上競技場ほか2会場） (参加・観覧者数 14, 360名)
	⑤長崎がんばらんば大会の開催（11月）	<ul style="list-style-type: none"> ・バレー・ボーラー競技会（島原復興アリーナ） (参加・観覧者数 1, 970名) ・サッカー競技会（平成町多目的広場） (参加・観覧者数 1, 952名)
	⑥その他	<ul style="list-style-type: none"> ・国体・大会開催記念植樹の実施

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

大項目	教育環境のこと	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 学校施設の整備・充実	①学校施設の整備	<p>・小・中学校の校舎・体育館などの建物の耐震化については、平成24年度で耐震補強工事が完了し、体育館非構造部材の耐震化は、平成26年度は、7校（第五小、三会小、大三東小、湯江小、第二中、第三中、三会中）の工事を実施し、また、平成27年度工事予定の7校分（第一小、第二小、第三小、第四小、高野小、第一中、有明中）の実施設計を行った。（平成25～27年度の3か年計画）</p> <p>○実施状況</p> <p>(ア) 非構造部材落下防止対策工事 小学校（4校）、中学校（3校）</p> <p>(イ) 非構造部材落下防止対策実施設計 (平成27年度工事分) 小学校（5校）、中学校（2校）</p> <p>○耐震化率(平成27年4月1日現在)</p> <p>(ア) 島原市 100%</p> <p>(イ) 長崎県平均 94.3%</p> <p>(ウ) 全国平均 95.6%</p> <p>・危険性・緊急性・必要性等を考慮し、計画的な施設整備を行った。</p> <p>○実施状況（主なもの）</p> <p>(ア) 浄化槽取替改修工事 三小</p> <p>(イ) 鉄骨校舎改修工事 五小</p> <p>(ウ) プール改修工事 三会小</p> <p>(エ) 遊具取替工事 高野小</p> <p>(オ) 貯水槽取替工事 一中</p> <p>(カ) 体育館横屋外便所工事 一中</p> <p>(キ) 防水改修工事 三中</p> <p>・児童の健全な育成と地域密着の交流拠点として学校校庭の芝生化に取り組んだ。</p> <p>○実施学校</p> <p>(ア) 第四小学校</p>
	②教育設備等の充実	<p>・全小・中学校のパソコンをWindows XPのマイクロソフトサポート終了に伴い、Windows 7へのアップデートを実施した。</p> <p>○小学校232台 ○中学校145台</p>

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	③給食施設等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な給食の提供のため、給食施設等の改善を図った。 <p>(ア) 給食用食器購入 二小・三小・共同・五小・有明学校給食センター</p> <p>(イ) 給食準備室クーラー取替 二小</p> <p>(ウ) 自動ドアセンサー取替 四小</p> <p>(エ) 外構改修工事 有明給食センター</p>
(2) 社会教育施設の整備・充実	① 公民館の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・危険性・緊急性・必要性等を考慮し、計画的な施設設備の整備を行った。 <p>○実施状況（主なもの）</p> <p>(ア) 雨漏り修繕 安中公民館</p> <p>(イ) 調理室床張替 三会・有明公民館</p> <p>(ウ) 疊表替 有明公民館</p>
	②図書館の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・不具合のあった雨漏修繕、書架等の購入により、必要な環境整備を行った。
	③文化会館の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・危険性・緊急性・必要性等を考慮し、計画的な施設設備の整備を行った。 <p>○実施状況（主なもの）</p> <p>(ア) 舞台調光設備直流電源及びフェーダ交換 島原</p> <p>(イ) 大ホール舞台暗転幕交換 島原</p> <p>(ウ) 吸收冷温水機部品交換 有明</p> <p>(エ) エレベーター部品交換 有明</p> <p>(オ) 大ホール舞台サス回路修繕 有明</p>
(3) 体育施設の整備・充実	①体育施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全性や利用者の利便性の向上を図るため、必要な改修・補修工事を実施した。 <p>また、国体開催に伴う施設の整備を行った。</p> <p>○実施状況（主なもの）</p> <p>(ア) 三会ふれあい運動広場バッケネット設置工事</p> <p>(イ) 島原総合運動公園庭球場スタンド上屋設置工事</p> <p>(ウ) 島原市営球場グラウンド整備工事</p> <p>(エ) 島原市営陸上競技場ほか1箇所オーバーシェーディング業務委託</p> <p>(オ) 島原市立温水プール塗装工事</p>

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価																							
(4) 修学支援の実施	①奨学金制度	<ul style="list-style-type: none"> ・向学心があるにもかかわらず、経済的な理由により修学が困難な学生に対して、奨学金の貸し付けを行った。 <p>平成26年度</p> <table> <tr> <td>貸与実績</td> <td>29名</td> <td>6, 540, 000円</td> </tr> <tr> <td>償還実績</td> <td>145名</td> <td>14, 117, 500円</td> </tr> <tr> <td>未納額</td> <td>84名</td> <td>11, 372, 000円</td> </tr> </table>	貸与実績	29名	6, 540, 000円	償還実績	145名	14, 117, 500円	未納額	84名	11, 372, 000円														
貸与実績	29名	6, 540, 000円																							
償還実績	145名	14, 117, 500円																							
未納額	84名	11, 372, 000円																							
	②就学援助制度	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費、各学校行事活動費、学校給食費等の援助を行った。 <p>○準要保護認定状況（平成26年度）</p> <table> <tr> <td>小学校</td> <td>300名</td> <td>（認定率12.76%）</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>257名</td> <td>（認定率18.21%）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>577名</td> <td>（認定率14.81%）</td> </tr> </table> <p>○就学援助費支給状況（平成26年度）</p> <table> <tr> <td>学用品費</td> <td>13, 036千円</td> </tr> <tr> <td>社会科見学活動費</td> <td>72千円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>335千円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>4, 314千円</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>1, 319千円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費</td> <td>25, 889千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>44, 965千円</td> </tr> </table>	小学校	300名	（認定率12.76%）	中学校	257名	（認定率18.21%）	計	577名	（認定率14.81%）	学用品費	13, 036千円	社会科見学活動費	72千円	校外活動費	335千円	修学旅行費	4, 314千円	医療費	1, 319千円	学校給食費	25, 889千円	計	44, 965千円
小学校	300名	（認定率12.76%）																							
中学校	257名	（認定率18.21%）																							
計	577名	（認定率14.81%）																							
学用品費	13, 036千円																								
社会科見学活動費	72千円																								
校外活動費	335千円																								
修学旅行費	4, 314千円																								
医療費	1, 319千円																								
学校給食費	25, 889千円																								
計	44, 965千円																								
	③東京学生寮	<ul style="list-style-type: none"> ・島原市東京学生寮は、昭和16年に中島飛行機製作所の女子寮として建設された建物を昭和38年4月1日に島原市が購入し、島原市東京学生寮として発足した。これまでに498名の寮生が利用してきたが、建物の老朽化による倒壊の危険性が高い等との理由から平成26年8月31日をもって廃止した。 <p>※東京学生寮の寮生退寮に伴う補償金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移転補償金 11件 2, 200千円 ・家賃補償金 14件 5, 240千円 <p>○所在地</p> <p>東京都武蔵野市吉祥寺東町二丁目45-11</p> <p>○建物</p> <p>木造瓦葺き2階建 延面積 476. 55m²</p>																							